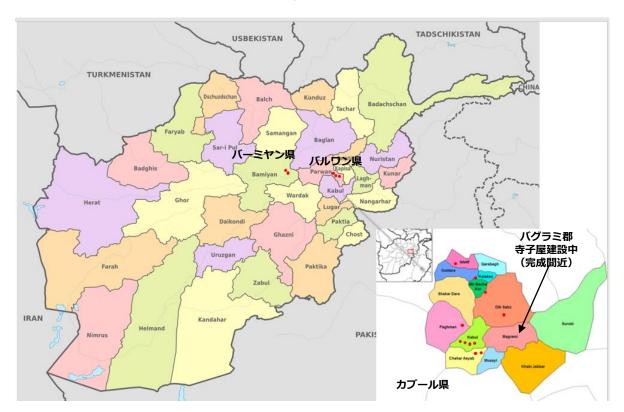


## 2019年度 アフガニスタン寺子屋プロジェクト概要





アフガニスタン寺子屋プロジェクトは、国内34県(州)のうち、3県(カブール県、パルワン県およびバーミヤン県)で活動しています。

#### 2019年度 活動報告 (詳細は次ページから)

皆さまのご支援のおかげで、アフガニスタンでは2019年度も16軒の寺子屋において、837人の大人が文字の読み書き計算、職業訓練など様々な学びの機会を得ることができました。厳しい治安状況のなかで、国内の紛争地から逃れてきた国内避難民の人びとなど、最も教育から遠い成人女性のために活動し、女性の読み書き能力や地位、収入向上につながっています。引き続き、アフガニスタン寺子屋事業を応援をお願いいたします!

#### プロジェクト概要

開始年 2002年

**現地事務所** 10名(カブールおよびバーミヤン)

対象地 アフガニスタン・イスラム共和国

成人識字率 全体=43.0% 女性=29.8% 男性=55.5%

**寺子屋数** 16軒 カブール県、パルワン県、バーミヤン県

**目 標** 長引く内戦によって教育機会に恵まれなかった女性に基礎教育(識字)および職業訓練を提供する。また、そのための拠点として学習施設である寺子屋を設立し、<u>将来はコミュニティが自立</u>して寺子屋運営にあたり、復興に寄与するとともに、持続可能な地域発展の拠点となることを目指す。

活動内容 基礎教育・収入向上活動・人材育成

**特 徴** CLC (=寺子屋) のモデルとして機能

#### 2019年度 活動実績

活動	クラス/回	学習者数
識字クラス	20	515 人
職業訓練	12	306 人
研修活動(識字教員等)	3	16 人
合計		837 人
寺子屋建設・設立	1軒建設中(95%完成) カブール県バグラミ県	

### ご報告1.カブール県バグラミ郡で寺子屋(17軒目)が完成間近!





建設前の調査(2018年11月)



寺子屋の起丁式の様子(2019年3月)



建設担当の地域の人びとと現地職員(2019年8月)



建設作業(2019年8月)



完成間近の寺子屋(2020年3月)



寺子屋の外観(2020年3月)

2019年度は、首都カブール県の中部にあるバグラミ郡のバグラミ寺子屋が完成に近づいています(アフガニスタン事業で17軒目の寺子屋です)。机や椅子などの搬入などが残っていますが、約95%の工程が終了しています。建設作業は、政府の専門家による設計図をもとに地域の人びとが中心に行っています。寒さの厳しい冬には作業ができないこともあり、建設は遅れていまいましたが、立派な2階建ての建物が完成しつつあります。今後、治安や新型コロナウィルスの拡大状況を見ながら、開所式典の実施をはじめ、識字クラスや職業訓練、寺子屋を運営する人びとへの研修などを実施する計画です。

## ご報告2. 2019年度、16軒の寺子屋で行われた主な活動











#### 識字クラス①

アフガニスタンの公用語であるダリ語を9カ月間学んでいます。6ヵ月の基礎コースの終了後、さらに3カ月の中級コースがあります。



#### 裁縫クラス②

裁縫クラスでは、型紙づくりや測量など識字能力や簡単な算数も必要です。クラスに参加することで識字能力の定着や向上も見られます。子供服や制服などを練習しています。



#### 識字クラス②

クラスの受講者はすべて女性で、識字クラスの 教員も女性です。これによって女性たちは寺子 屋のクラスに安心して通えます。



#### 識字教員研修①

教育省職員と現地事務所スタッフが協同で、2日間の識字教員への研修を行いました。授業の計画や生徒の評価、大人への教え方などを学びます。



#### 裁縫クラス①

識字クラスを修了した生徒を対象に、収入アップの ための職業訓練も実施しています。卒業生のなかに はビジネスを始める人もいます。



#### 識字教員研修②

識字教員は、寺子屋の運営委員が地域で教育を受けた女性たちを募集し(基本的には高校卒業以上)、 研修を行って授業を実施します。

# ご報告3. 学習者のコメント/新型コロナウィルスの影響について





#### 学習者からのコメント(識字クラス)



バハラさん(15歳) カブール郊外 バリカブ国内避難民キャンプ

「識字クラスで嬉しいのは、先生も生徒もみんな女性なことです。両親が学校に行かせてくれなかったのは、男女が一緒に勉強することを快く思っていなかったからです。最初は(母国語である) ダリ語の文字が難しかったですが、先生のおかげで理解できるようになりました。

将来は助産師になりたいです。住んでいる キャンプでは多くの妊婦の人たちが離れた病 院に行くのが大変ですから。 |

#### 新型コロナウィルスの影響と対応について

■ 世界寺子屋運動の活動への影響について

アフガニスタンでも新型コロナウィルスの感染が拡大しています。 6月26日現在で、30,155人の感染者が確認

6月26日現在で、30,155人の感染者が確認 されています(死亡者数は675人)。

拡大防止のため、3月24日からアフガニスタン全土でロックダウン(外出禁止)が行われ、学校や大部分の政府機関などが閉鎖されました。「世界寺子屋運動」が実施していた識字クラスや職業訓練、寺子屋の建設も3月下旬から一時的に休止を余儀なくされています。

アフガニスタンでは、感染者数はまだ増加していますが、少しずつ経済活動が再開されています。

学校や識字クラスが休止している対応として、 教育省が代替教育としてテレビによる識字ク ラスをはじめ、小学校から高校までの授業の 一部をテレビを通じて実施しています。

「世界寺子屋運動」では、社会的距離やマスクの着用など感染予防のための対策を講じながら、活動を再開する予定です。



【TV識字クラスの画像】

■ アフガニスタンでの新型コロナ対応 (2020年6月から8月に実施予定)

現地の医療団体であるカブール市の「SAHA診療所」を通じて、困窮世帯への食糧支援や医療従事者への個人防護具、マスク、消毒液などの支援を行い、感染予防に少しでも貢献できることを目指します。